学校番号	１０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)歴史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	明解　歴史総合図説　シンフォニア　四訂版（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次で学習したことを念頭に、引き続き、日本に住む若者として戦後日本の歩みを正確に知るとともに、日本の歩みは世界の動きと深く結びついていることを考えよう。
・現代の世界と日本の歴史を関連付けながら学び、不確実性が増しつつある今を生き抜くために必要な歴史的思考を身につけよう。

2　学習の到達目標

(1)現代の諸課題を理解するために歴史の学習を深めるとともに、諸資料を読み取り、その内容を理解する。
(2)国際社会に歴史が与えた影響を考察し、その原因と結果を学び、現代における解決策を表現する。
(3)政治だけに限らず、経済や文化にも目を向けつつ、社会の一員として何ができるかを、常に考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりしている。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第一次世界大戦と日本の対応	ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 総力戦となった第一次世界大戦 ロシア革命と対大戦の終結	a:植民地獲得競争の激化により始まった第一次世界大戦の時期に、日本が中国への侵略を進めた経緯を学び, そのことが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響を理解し、その知識を身に付けている。 b: 第一次世界大戦中に、日本が中国への侵略を進めた経緯、それが日本と中国や欧米列強との関係に与えた影響について歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。 c: 国際的に平和やデモクラシーを尊重する風潮が高まり、国際連盟が創設される一方で、列強は自国の権益を維持しようとし、それが各地の民族自決を目指す運動の広がりにつながったことを、現代の世界の私たちが学ぶべき点を考察する。	定期考査 課題テスト	定期考査 レポート課題	ワークシート
	国際協調と大衆社会の広がり	ヴェルサイユ体制の成立 東アジアの民族自決の行方 中東・インドの民族自決の影響 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 大衆社会の出現とアメリカの繁栄 日本における大衆社会の形成	a: 膨張する大日本帝国の中で, 人々がどのような理由, 規模で移動したのかを学び, 大日本帝国の実態、それを構成した人々の生活について理解し、その知識を身に付けている。 b:大戦景気の概要と大戦景気から戦後恐慌にいたる経緯を学び、好況や不況が産業や民衆の生活、社会運動に与えた影響が何かを表現できる。 c:大正期にデモクラシーの思想が発達するとともに、労働運動や女性運動などの社会運動が組織的に行われるようになったが、私たちの世界との共通点が何かを考察する。	定期考査 課題テスト	定期考査 グループ学習での発表	グループ学習での発表 ワークシート

2学期	日本の行方と第二次世界大戦	世界恐慌が与えた影響 ファシズムの台頭と拡大 政党政治の断絶と満州事変 日中戦争の始まり 第二次世界大戦の展開 戦局の悪化と被害の拡大 第二次世界大戦の終結とその惨禍	a: 昭和恐慌が深刻化し排外熱が高まる中で、メディアにあおられた国民の支持を受けて満州事変が進んだ結果、昭和恐慌からは回復したものの、日本が国際社会から孤立していった経緯を理解し、その知識を身に付けている。 b:長く続く不況が、日本の経済や政治、社会に与えた影響を、軍国主義台頭の要因を追究する視点から歴史的に考察し、考察したことを適切に表現している。 c:日中戦争から終戦まで導いたものが何であるかを政治、思想、経済といった多方面から考察する。	定期考査 課題テスト	定期考査 レポート課題	ワークシート
	再出発する世界と日本	戦後の新たな国際秩序 冷戦の始まり 日本撤退後の東アジア 日本の改革と独立の回復	a:国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b: 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目し、主題を設定して、日本やその他の国や地域の動向を比較、相互に関連付けるなどして、地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:国際秩序の変化に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期考査 課題テスト	定期考査 グループ学習での発表	グループ学習での発表 ワークシート

3学期	グローバル化と私たち	冷戦で揺れる世界と日本 多極化する世界 グローバル化のなかの世界と日本	a：冷戦終結後の国際政治の変容と課題について、概念的に理解し、市場経済の変容と課題について、諸資料から読み取り、理解している。 b: 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目し、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などについて考察し、結果を表現している。市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などについて考察し，結果を表現している。 c: 冷戦終結後の国際政治の変容と課題について振り返り、自らの学習を調整しようとしている。市場経済の変容と課題について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 課題テスト	定期考査 グループ学習での発表 レポート課題	グループ学習での発表 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度